

学士課程プログラム

**JLCC** Japanese Language and Culture  
Communications Training Program

日本語日本文化コミュニケーター養成プログラム



## 【JLCCの目指す人間像】

本プログラムでは、本学の学類生と連携先大学の学部生がともに自らの文化を言語化するスキルを、互いの意見をぶつけ合いながら鍛え、自らのアイデンティティを超えて問題解決へと導く方法を身につけます。これを通じ、実社会で即戦力となり得る日本語・日本文化コミュニケーターとして必要な国際的コミュニケーション能力を養います。この能力を活かし、日本語教師や学校教員、文化交流事業関連の国際企業での活躍が期待されます。

## 【プログラムの特色】

多様な文化・アイデンティティをもつ学生同士の対話・協働を重視した、実践的な合同教育をおこなうことが大きな特徴です。これによって、文化コミュニケーターに必要な分析力・判断力・表現力を鍛えることができます。

- ①**国境を越えた合同学習**：連携大学の教員による集中講義。ビデオ会議システムの活用。eラーニング講義。英語による講義。
- ②**共同研究**：連携大学の学生とのチームによる共同研究。教員・大学院ファシリテーターによる支援。
- ③**国際連携・国際協働の実践経験**：国際連携、国際協働に関わる視点からのインターンシップ。連携大学への派遣に関わる旅費などの支給。

## 【カリキュラム】

卒業単位と重複する外国語科目・講義科目のほかに、特別に開講される集中講義（4単位）、インターンシップ、共同研究を履修します。特別に開講される4単位分の講義科目では、国際社会における問題解決能力を高め、文化コミュニケーターに求められる知識と実践能力を養います。実習科目では企業・団体・教育機関などでのインターンシップのほか、連携大学生をパートナーとして共同研究をおこない、学際的な研究に加え異文化体験も経験しながら実践力を磨きます。プログラム修了生には卒業時に履修証明書が授与されます。

### 履修科目（41単位=61.5ECTS）

外国語科目(18)	講義科目 I (10)	講義科目 II (4)	実習科目(9)
卒業要件と重複		特別開設	
英語	日本語教育概論、文化基礎論	文化コミュニケーター基礎論 I・II	共同研究(6)
第2外国語	その他、各学類の科目を認定	文化コミュニケーター応用論 I・II	インターンシップ(3)

### 講義科目 II（平成24年度の例）

#### 文化コミュニケーター基礎論 I

一地球市民として自分の文化を知り、異文化を尊重する視点に立ち、言語を中心としながら地球社会における交流の様々なありかたを紹介します。



### 文化コミュニケーター

#### 基礎論Ⅱ

いわゆる「日本的」志向と行為に重点をおき、異文化交流についての基礎的概念を理解するための講義と議論をおこない、コミュニケーターとしての模擬演習もおこないます。

### 文化コミュニケーター

#### 応用論Ⅰ

現代文明の諸問題についてテーマを設定し、国連をはじめとする国際機関・国際交渉に対する理解を深め、対話とコンフリクトの交渉の現場でいかに行動するかを学びます。

### 文化コミュニケーター

#### 応用論Ⅱ

国際コミュニケーションの場における高度なコミュニケーション技能の習得を目指し、「模擬国連」という活動を通して、交渉と合意形成に必要なコミュニケーションスキルを実践的に学びます。

## インターンシップ

連携校の学部生と協働しながら国際交流の現場を支える仕事を体験し、実社会で即戦力となり得る日本語・日本文化コミュニケーターとして必要な国際的コミュニケーション能力を高めます。

(実習先：つくば市国際交流協会、茨城県国際交流協会、茗溪学園など)

## 共同研究

本学の JLCC プログラム生と連携先大学の学部生が共同で同一のテーマを設定し、ペアで協力しながら研究を遂行します。一年間でレポートを作成し、成果報告を行います。共同研究を円滑に進めるために、互いの大学に1ヶ月ずつ滞在します。

## 【連携大学】計6名を派遣



ボン大学 (ドイツ)



ベネチア・カフォスカリ大学 (イタリア)

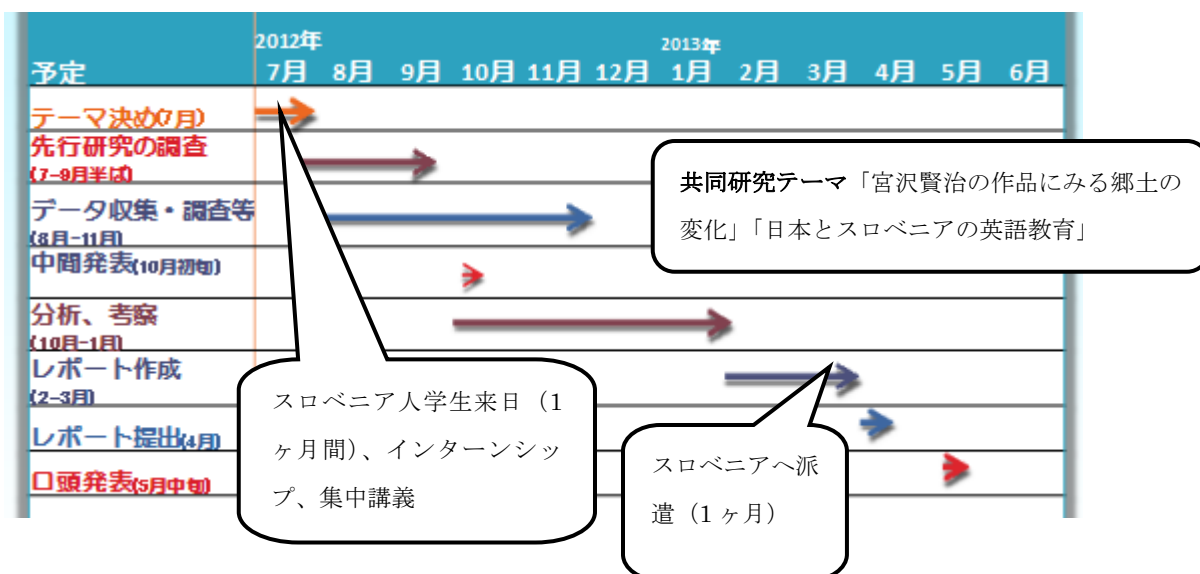


モスクワ市立教育大学 (ロシア)

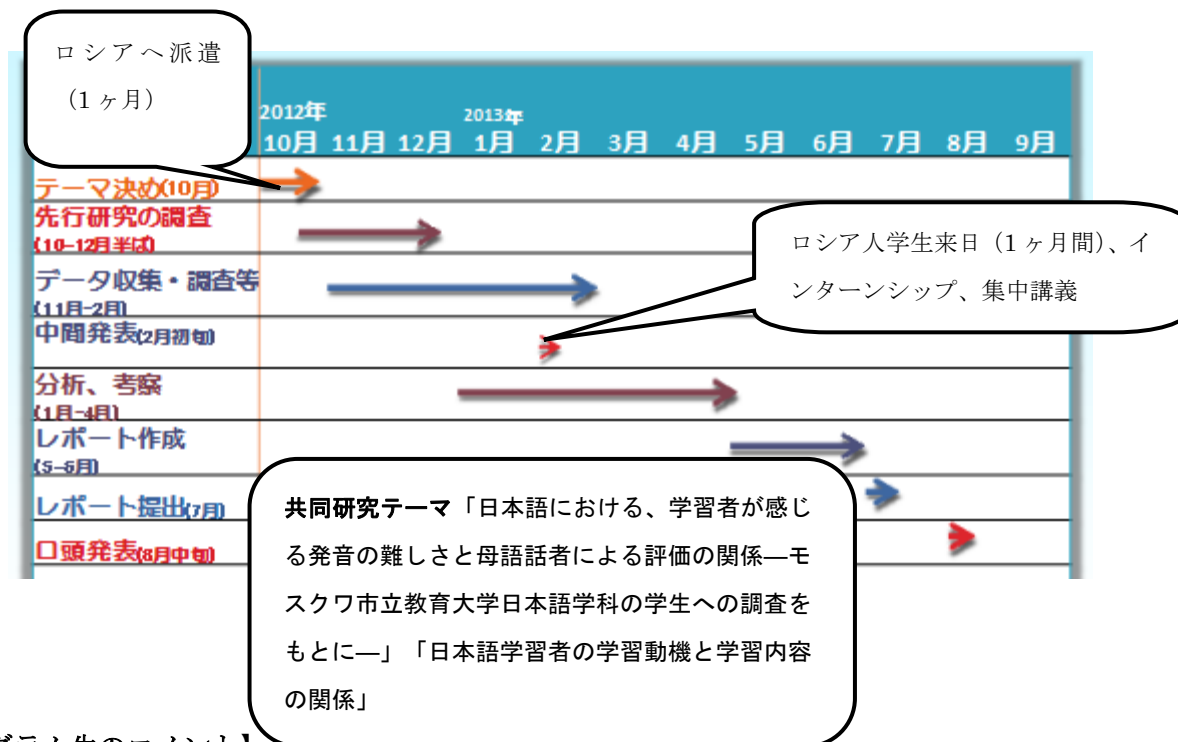


リュブリャナ大学 (スロベニア)

【平成 24 年度生のスケジュール例 1 (スロベニア)】



【平成 24 年度生のスケジュール例 2 (ロシア)】



【プログラム生のコメント】

この JLCC というプログラムには、海外での学び、国内の国際交流の現場への立ち合い、異文化で学ぶ学生との交流など様々な機会が用意されていて驚きました。今回のプログラムを通し自分の将来や国際交流の未来について考えを深めることができそうです。

問合せ先

〒305-8577 つくば市天王台 1-1-1 共同利用棟 A302-2 TRANS 事務室

電話 029-853-4074

<http://trans.hass.tsukuba.ac.jp/jlcc/ja/>